

京都府立医科大学附属 北部医療センター(与謝の海病院)NEWS

平成28年8月

Vol.9

《病院理念》信頼される全人的医療

《基本方針》

- 患者さんが中心の安心安全な医療を提供します
- 患者さんと医療従事者のコミュニケーションを大切にします
- 個人情報の保護に努めます
- 専門性と総合性をもつ診療を行います
- 地域に開かれた病院として貢献します
- 全人的医療が行える医療人を育てます
- 地域の特性を活かした研究を推進します

駐車場を拡張しました！



今年4月から8月末までの期間において、ロータリーの改修及び外来駐車場等の整備工事を実施していましたが、この度、その一部が完成し供用を開始しました。

新たに整備します駐車場は、身体障害者用駐車枠4台の整備や、京都おもいやり駐車場枠22台分の新設など、全体で52台増となり、220台分の駐車が可能となります。

なお、ロータリー部分は、救急車と路線バス、送迎車の専用ロータリーになりました。患者さんの送迎のための一時停車区域とし、終日駐車禁止としていますので、一般車両の乗り入れはご遠慮願います。

また、バス停留所もロータリーに移設しました。

「敷地内禁煙にご理解下さい。」

【第9号の内容】

- 1ページ ● 駐車場を拡張しました！
- 2ページ ● 府民公開講座の開催 ● 熊本にDMAT、救護班の派遣 ● セタコンサート
- 3ページ ● ナースのお仕事3…八木悦代 皮膚・排泄ケア認定看護師 ● 医師異動情報
- 4ページ ● 診察室「人工透析室の紹介」…茂木茂治副看護師長 ● 診療科紹介「麻酔科」…吉岡真実医長
- 5ページ ● 地域医療連携室「かけはし」 ● 一〇レシビ
- 6ページ ● 外来各科診察担当医表 ● 職員募集



〒629-2261
京都府与謝郡与謝野町字男山481
電話/FAX 0772-46-3371 (代表)
<http://nmc.kpu-m.ac.jp/>

府民公開講座の開催について

第1回目は、「肺がんと腎臓病」をテーマに、6月26日(日)に与謝野町の知遊館で開催しました。

呼吸器疾患を専門とする、岩崎教授が、喫煙の健康への影響や、肺がんの診断から治療への流れ、免疫療法などの最新治療まで詳しく説明しました。参加者からは検査に係る被爆について質問がされるなど、関心の高さがうかがえました。

また、北部地域の基幹病院として初めての「腎臓」の専門医となる腎臓内科の石田副医長は、腎臓の働きや、慢性腎臓病の定義、腎臓機能と心血管疾患の関連性などについて講演されました。



腎臓内科 石田副医長

第2回目は、「アレルギーとペイン」をテーマに、7月24日(日)に京丹後市の峰山総合福祉センターで開催しました。

小児科の坂本副医長から、近年増えてきているこどもの食物アレルギーについて、代表的な症状や、診断方法、治療方法などの説明がありました。

また、ペインクリニック(痛みの専門診療)を担当する、麻酔科の吉岡医長は、「痛み」の役割や、難治性慢性痛の治療法などについて、講演されました。

府民公開講座では、各診療科の専門医が病気の治療や予防に役立つ情報を、わかりやすくお伝えします。ぜひ、ご参加ください。

被災地・熊本へ、DMAT、救護班を派遣

平成28年熊本地震災害における被災地支援のため、厚生労働省DMAT本部からの要請に基づき、北部医療センターからDMATチームを派遣。医師、看護師、調整員、運転員の計5名が、4月17日(日)～18日(月)にかけて、現地での応急活動に当たりました。

また、5月2日(月)～8日(日)には、京都府からの要請に基づき第3陣の救護班を派遣。医師、看護師の計3名が、被災地の病院で医療支援に当たりました。



DMATチームの帰院(4/19)



DMATチーム、救護班の職員。
6/6には活動報告会を開催しました



救護班の出発式(5/2)

七夕コンサート開催



患者さんの癒やしの一助となることを願って、七夕コンサートを7月13日(水)に開催しました。病院職員、看護学校学生等で構成される「クレッシェンド与謝」の演奏や、事務職員によるギターの弾き語り、医師・看護師の有志によるコーラスグループの合唱など、全10曲を披露しました。

患者さんとその御家族など、約130名の方々が曲に合わせて手拍子を打ったり、リズムをとりながら合唱するなど、楽しいひとときを過ごしました。

ナースのお仕事 3



— 外来師長 八木 悦代 皮膚・排泄ケア認定看護師 —

〔やぎ えつよ：平成3年4月から当院勤務〕

質問1：専門分野とその役割は？

八木：私は4年前に皮膚・排泄ケア認定看護師の資格を取得しました。この専門分野では、皮膚や褥瘡（床ずれ）などの皮膚トラブルなどに対する創傷ケア、人工肛門や人工膀胱などのストーマ造設患者さんへのケア、失禁に関するケアにおいて専門的な知識・技術を用いた看護を提供させていただきます。スキンケアや排泄ケアは日常的に行われるものであり、欠くことのできない看護の基本的な部分であると考えます。専門的なケアによって地域の皆様によりよい生活を過ごしていただけることを常に願い、医師や看護師そしてさまざまな医療従事者と協力し活動しています。

質問2：看護師を目指すことになったきっかけは？

八木：叔母が看護師としててきぱき働いている白衣の姿に憧れていました。将来、自分の職業の選択肢となりました。

質問3：看護師となって、感じたことは？

八木：日々多忙な業務に追われるなかでも患者さんから「ありがとう」と声をかけられるとその苦勞が報われる思いを幾度となくしてきました。患者さんとの関わりから学ぶことが多く看護師としてやりがいにつながっています。

質問4：日々こころがけていることは？

八木：まずは話をよく聴くこと、そこから患者さんが満足できるケアを日々取り組んでいきたいと思っています。

質問5：お知らせしたいことは？

八木：生活習慣の変化や高齢化により糖尿病患者（糖尿病予備軍含め）が急増し、今は5人に1人が糖尿病といわれています。糖尿病患者さんは足の病気にかかりやすいです。神経障害・動脈硬化・易感染により足の病気が大事になりやすいので、毎日足をチェックし関心をもつことをお勧めします。

医師異動情報

転出日	診療科名	職名	転出者	転入日	診療科名	職名	転入者
平成28年 3月31日	病理診断科	准教授(担当部長)	真崎武	平成28年 4月1日	病理診断科	准教授(担当部長)	井村徹也
	消化器内科	助教(副医長)	西村健		消化器内科	講師(医長)	中村英樹
	"	助教(医師)	福井勇人		"	助教(医師)	橋本光
	循環器内科	助教(医長)	高田博輝		循環器内科	助教(医長)	谷口琢也
					"	助教(副医長)	河崎貴宣
	総合診療科(神経内科兼務)	助教(医長)	山田丈弘		腎臓内科	助教(副医長)	石田良
	外科	助教(医師)	満田雅人		神経内科	講師(医長)	丹羽文俊
	"	助教(医師)	山下英次郎		外科	助教(医師)	井上博之
	産婦人科	助教(副医長)	沖村浩之		"	助教(医師)	中辻拓興
	小児科	助教(医長)	まつ井史裕		産婦人科	助教(医師)	志村光輝
	"	助教(副医長)	吉田秀樹		小児科	講師(医長)	千代延友裕
	"	助教(副医長)	浅井大介		"	助教(副医長)	坂本謙一
	眼科	助教(医長)	畑中宏樹		"	助教(副医長)	幸道かず樹
	"	助教(副医長)	糸井素啓		眼科	助教(医長)	竹田圭一
					"	助教(副医長)	大槻陽平
					"	助教(医師)	草田夏樹
	皮膚科	助教(医長)	小森敏史	皮膚科	助教(医長)	和田誠	
	麻酔科	助教(医師)	森添理恵	麻酔科	助教(医師)	和三智恵	
				地域医療学(救急科)	助教(副医長)	よし吉山敦	
				総合診療科	医師	まつ松原慎	
6月30日	整形外科	講師(医長)	吉田隆司	7月1日	整形外科	助教(副医長)	はら原佑輔
	泌尿器科	助教(医師)	多賀英人		泌尿器科	助教(副医長)	安食淳
	麻酔科	助教(医師)	たつ辰野有沙		麻酔科	助教(医師)	あお青木千尋
				8月1日	放射線科	講師(医長)	さき佐藤修

診察室

「人工透析室の紹介」

しげ ぎ しげ はる
透析室副看護師長 茂 木 茂 治



“人工透析”とは、腎炎、高血圧、糖尿病などにより腎臓が機能しなくなった人に対して、腎臓の代わりに機械を使って血液中の老廃物や水分を取り除く治療です。当院では、年間10名前後の導入患者さんがおられ、現在40名の方が外来で通院透析を受けられています。透析ベッド14床、出張用コンソール1台を設置し、入院透析及び緊急透析にも対応できます。医師、看護師、臨床工学技士でタッグを組み、患者様のQOL（生活の質）を高めるために水分や食事管理などの日常生活に対する支援を行い、快適な日常生活を過ごして頂けるように努めています。

手術目的での入院透析や、緊急入院で透析を導入された患者様、また旅行や帰省による受け入れもしています。

透析という一生続く治療をされている患者様のサポートは責任重大です。スタッフ一同少しでも患者様に寄り添う事ができるよう日々努力しています。

施行している各種治療

- 血液透析（HD）
- 血液透析濾過（off-lineHDF）
- 重症患者の持続血液透析濾過（CHDF）
- 腹水濾過濃縮再静注法（CART）
- 血漿交換（PE）
- 顆粒球除去療法（G-CAP）
- エンドトキシン吸着（PMX）など。



診療科紹介

— 麻酔科 —

よし おか まさ み
麻酔科医長 吉 岡 真 実

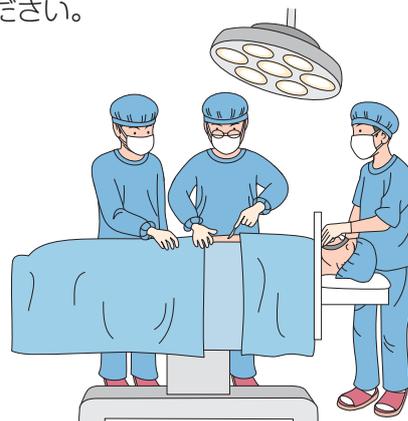


京都府立医科大学附属北部医療センターには、現在5室の手術室があり、年間に約3000例の手術が行われています。そして全て日本麻酔科学会の認定医以上の資格を持つ5名の常勤麻酔科医が、年間約1100例余りの全身麻酔や脊椎麻酔（下半身の麻酔）を担当しています。

最近の研究では、手術中だけでなく手術前後を含めた周術期の管理方法によって、患者さんの年余にわたる予後まで左右されることが分かってきました。これは手術に伴う身体的あるいは精神的ストレスが、術後早期の経過だけでなく、退院されて数年後の心筋梗塞や脳血管障害など、新たな病気の発症にも影響を及ぼすというものです。私たち麻酔科医は最新機器を駆使し、個々の患者さんに安全で最適な麻酔管理を心掛けています。また術後は神経ブロックや持続静脈投与法を積極的に行って、創痛を極力少なくし、早期の回復と退

院をしていただけることを目指しています。

当医療センターで受診される皆様、安心して手術を受けていただけるように、手術室スタッフとともに努めてまいります。麻酔に関するご心配事やご質問がありましたら、何なりと麻酔科にご相談ください。



地域医療連携室「かけはし」

当院は「在宅療養あんしん病院登録システム」に参加しています

在宅で療養中の高齢者が体調をくずして、在宅での対応が難しくなったら…。そんなときでも、スムーズに病院で受診し、必要に応じて入院ができるようにするため、あらかじめ必要な情報を登録しておくシステム、それが「在宅療養あんしん病院登録システム」です。

早めの対応により、病状の悪化や身体の働きの低下をできるだけ防ぎ、在宅生活を続けることを支援します。



- 対 象** 在宅療養されている京都市在住の65歳以上の方。
 - ・訪問診療を受けている方
 - ・かかりつけ医に定期的に通院されている方
- お申込み** 「かかりつけ医」(病院・診療所)にご相談ください。
- お問合せ** 当院・医事課(電話 0772-46-3371(代))

※詳しくは、京都地域包括ケア推進機構のホームページ内にある「在宅療養あんしん病院」をご覧ください。
<http://www.kyoto-houkatucare.org/anshin-hospital/>

受診の際は紹介状(診療情報提供書)をお持ちください

平成20年4月1日から、「他の医療機関からの紹介状」をお持ちでない初診患者さんには、初診にかかる費用として「保険外併用療養費2,100円」をお支払いいただいております。

保険外併用療養費とは、『初期の医療はかかりつけ医(地域の医院・診療所)へ、専門的な治療が必要となったら病院へ』という、機能分担の推進を目的に厚生労働省が定めた制度です。

この制度に基づいて、「紹介状」のない患者様の「初診」については、診療料金とは別に、保険外併用療養費をご負担いただきます。

受診の際は、かかりつけ医の紹介状をお持ちください。



- 下記に該当される方は保険外併用療養費がかかりません**
- 他院からの紹介状(診療情報提供書)をお持ちの方
- 緊急の場合で救急車により搬送された方
- 救急受診後に入院された方
- 国から公的医療扶助を受けておられる方
- 「重度心身障害児(者)医療助成」及び「重度心身障害老人健康管理事業」の対象の方
- 交通事故の患者さんのうち、保険証が適用されない方

一口レシピ 「杏仁豆腐」

【材料：5人分】

- ・粉寒天…4g ・牛乳…200ml ・水…300ml
- ・砂糖…40g ・ミカン缶…60g ・キウイフルーツ…1個

【作り方】

- ① 鍋に水と粉寒天を入れ火にかけ、かき混ぜながら煮溶かす。寒天が溶けたら火を弱め1～2分間沸騰させる。
- ② ①の鍋に牛乳と砂糖を入れ少し温めて火を止める。バット等の容器に入れ、あら熱がとれたらフルーツを入れて冷蔵庫に入れ冷やす。



外来各科診察担当医表 (平成28年7月1日～)

診察室	診療科	月	火	水	木	金	
11	総合診療科	横井大祐 助教 (副医長)	(第1, 3, 5) 松原 慎 (医師) (第2, 4) 谷口琢也 助教 (医長)	高木智久 准教授 (医長)	石野秀岳 講師 (医長)	横井大祐 助教 (副医長)	
12	呼吸器内科	嶋本貴之 助教 (副医長)	大月亮三 助教 (医長)	大月亮三 助教 (医長)	岩崎吉伸 教授 (岩崎吉伸 教授 禁煙外来(第1,3 14時~16時))	大月亮三 助教 (医長)	
13	消化器内科	1診	橋本 光 助教 (医師)	福居顕文 助教 (副医長)	中村英樹 講師 (医長)	堅田和弘 講師 (医長)	稲田 裕 助教 (副医長)
		2診			高木智久 准教授 (午後 予約)		
14	循環器内科	谷口琢也 助教 (医長)	宮川浩太郎 助教 (副医長)	河崎貴宣 助教 (副医長)	有吉 真 助教 (副医長)	入江大介 助教 (副医長)	
15	神経内科	丹羽文俊 講師 (医長)		(第1, 3 午後) 中川正法 教授 (病院長)	丹羽文俊 講師 (医長)	中川正法 教授 (病院長)	
		中川正法 教授 (病院長) (第1 神経内科(再診)) (第3午前 もの忘れ外来(予約))		中川正法 (もの忘れ外来) (予約)			
26	精神科	大矢 希 助教 (医師)	上村 宏 准教授 (医長)	上村 宏 准教授 (医長)	上村 宏 准教授 (医長)	大矢 希 助教 (医師)	
23	小児科	坂本謙一 助教 (副医長)	幸道和樹 助教 (副医長)	千代延友裕 講師 (医長)	坂本謙一 助教 (副医長) (1診) 柴原康通 講師 (2診(第1, 3, 5 午前) (予約))	千代延友裕 講師 (医長)	
18	外科	1診	伊藤博士 助教 (副医長)	中村憲司 講師 (乳腺・新患) (医長)	當麻敦史 講師 (医長)	中村憲司 講師 (医長)	落合登志哉 准教授 (副病院長)
		2診	渡邊信之 助教 (副医長)	井上博之 助教 (医師)	中辻拓興 助教 (医師)		(第1) 神崎智仁 医師 (第2, 4) 常盤和明 特任教授
22	整形外科	1診	(第1午前) 齊藤正純 助教 (副医長) (第2, 5 午前) 原 佑輔 助教 (副医長) (第3午前) 城戸優充 助教 (副医長) (第4午前) 細井邦彦 助教 (副医長)	原 佑輔 助教 (副医長)	城戸優充 助教 (副医長)	齊藤正純 助教 (副医長)	細井邦彦 助教 (副医長)
		2診	岡田直也 医師			(午前) 岡田直也 医師	
17	脳神経外科		山中龍也 教授 (隔週) 特任教授 (隔週) 関本達之 教授 (隔週)	山中龍也 教授 (隔週) 関本達之 教授 (隔週)	谷山市太 医師	井上靖夫 医師	
19	眼科	1診	加藤雄人 助教 (副医長)	草田夏樹 助教 (医師)	(午前) 竹田一徳 助教 (医長) (午後) 加藤雄人 助教 (副医長)	竹田一徳 助教 (医長)	加藤雄人 助教 (副医長)
		2診	大槻陽平 助教 (副医長)		大槻陽平 助教 (副医長)	草田夏樹 助教 (医師)	
20	産婦人科	辻 哲朗 助教 (医長)	志村光揮 助教 (医師)	青山幸平 助教 (医師)	(第1, 3, 5) 志村光揮 助教 (医師) (第2, 4) 青山幸平 助教 (医師)	野口敏史 准教授 (副病院長)	
24	泌尿器科	安食 淳 助教 (副医長)	問山大輔 助教 (医長)	問山大輔 助教 (医長)	安食 淳 助教 (副医長)	問山大輔 助教 (医長)	
25	耳鼻咽喉科	1診	信原健二 助教 (医長)	信原健二 助教 (医長)	鯉田篤英 医師	信原健二 助教 (医長)	齋藤敦志 助教 (副医長)
		2診		齋藤敦志 助教 (副医長)		齋藤敦志 助教 (副医長)	
21	腎臓内科	石田 良 助教 (副医長)			石田 良 助教 (副医長)		
		ペインクリニック		(第2, 4) 伊吹京秀 講師			
16	皮膚科	和田 誠 助教 (医長)	和田 誠 助教 (医長)	和田 誠 助教 (医長)	和田 誠 助教 (医長)		

●受付時間 ●再診(予約のある方) 午前8時から受付開始 ●初診・再診(予約のない方) 午前8時30分～11時
●閉診日 土・日曜日、祝日及び年末年始(12月29日から1月3日) 【急患は、時間外でも診察】

職員募集中!

当センターでは現在、常勤職員(薬剤師、臨床工学技士)、嘱託職員(調理師)を募集しています。

条件等についてはお気軽にお問い合わせください。

【問合せ先】京都府立医科大学附属北部医療センター 庶務課

☎0772-46-3371(代表)



【発行】京都府立医科大学附属北部医療センター (与謝の海病院) 【問合せ先】庶務課
TEL/FAX 0772-46-3371(代表) ホームページ <http://nmc.kpu-m.ac.jp/>